

100号記念に寄せ ひとこと

笹丸自治会・森信節子

私は、この6月に前任者より「ふれあい雪谷」の編集委員を引き継いだばかりなので、100号の編集委員としての感想などを書くのはおこがましいのです。笹丸地区のマンションに自分の仕事場を約40年前に持ち、やがて住まいも移したのですが、今回編集委員になってみて、地域のことを何にも知らないなあと思っています。町の歴史や、面白い話題を持っている人を見つけて親しみやすい紙面のお手伝いができればと、暗中模索している状態です。

雪谷石川台自治会・大槻 生

初めて参加させて頂いた69号の編集会議は出張所旧庁舎の2階会議室でした。只管（ひたすら）原稿をお願いし続けて8年間、今では庁舎も、編集委員さんの顔触れもすっかり変わりました。

この度、創刊100号との巡り合わせもいろいろなご縁があつての事と思っております。またここ迄来られたのも原稿を快く引き受けて頂いた皆様のおかげと心より感謝しております。ありがとうございました。「ふれあい雪谷」の事で何かご希望ご意見ご感想をお聞かせ頂ければと思っております。

希望ヶ丘自治会・木村憲一

編集委員になっての初仕事が100号記念特別号とは、とてもラッキーです。九州（宮崎県）から上京して50年（品川区民2年、大田区民48年）。大田区では東雪谷自治会に16年、現在、希望ヶ丘自治会に18年、それぞれの地域で近隣の方々に支えられてまいりました。編集のお話をいただいた時、「菊作り 咲きそろふ日は 陰の人」（作家・吉川英治）の句が浮かびました。報恩を尽くす時と肝に銘じ、編集に丁寧に携わらせていただきます。

南雪谷自治会・立麻裕稔

編集委員となり5年、多くの出来事があった。一番印象に残るのは、平成23年3月11日、東日本地方に未曾有の大地震と津波が発生した。その時「ふれあい雪谷」の編集部は、出張所で編集会議を行っていて、突然の大きな揺れに驚いた。津波被害にあつて、象徴的な遺構でありながら解体が決まっていた、南三陸町防災対策庁舎について、20年後まで保存の論議をやり直すことになった。「被爆地も被災地」も後世に教訓を伝える遺構の存在は重要ではないか。

東雪谷東中自治会・秋山一雄

編集をして2年、多くの方々の文章に接してまいりました。編集作業では同じ文を何度も何度も読ませていただきます。時に、行間にあるその方の生き方や人生観も頭をよぎります。

そして気づきました、雪谷地区のそこかしこに、各々の仕事や生活を通して己を照らし、世のため人のためになる努力や実行をなさっている（照らしている）方々がたくさんいらっしゃることに。あの伝教大師最澄の「一隅を照らす」営みです。

東雪自治会・西本頼雄

この「ふれあい雪谷」の編集委員の担当を前任の松尾勝子さんより引き継いで、8年になりますが原稿集めに苦労します。

どうしても原稿が無いときには自分で書くことも。また、最近では「原稿は書けないが話だけなら」という方にはご自宅にお邪魔して、いろいろ話を伺いながら記事にまとめることもあります。今回で100号です。創刊号より編集に携わった先輩の方々に敬意を表します。

読者の皆様今後とも応援よろしく願いいたします。

池の台自治会・柏三八子

地元、大森六中の卒業生です。卒後半世紀が過ぎましたが、原稿依頼で母校の校長室を訪ねたり、防災訓練を後輩と一緒に体験したりしました。地域への貢献が出来たらと、前任者の岡野喜代子さんからバトンを受けて、現在9年目を迎えました。子育てママの憩いのオアシス、育館の登場あり、わが街の人間国宝の御紹介など、これからも活力ある街の話題を幅広くお届けしたいと思っています。

小池自治会・原 龍興

手元に、平成14年もみじ号から虫食い号もありますが、ほぼ揃っています。以前から地域情報紙として興味を持って読んでいましたので、自治会から編集委員の声がけがあった時も、ブルーカラー出身の私に務まるか一抹の不安もありましたが、余り抵抗なく引き受けることができました。各編集委員のご協力をいただいてこの100号と云う記念号の編集に携わったことを嬉しく思っています。

上池上自治会・田上潤一

「ふれあい雪谷」100号記念号に、かけ出しの編集委員として関わることができ、とても嬉しく思っています。これまでの編集委員の皆さんが、地域に愛される情報紙をめざして、その意思を代々受け継ぎ、充実発展させてきた賜物です。出張所の歴代の所長さん、担当の職員の方々の支えが大きく、地域の人々の協力のおかげでもあります。これを機に、ためになる楽しい紙面づくりを心掛けていきたいと考えています。



後列左から 木村 立麻 原 秋山 田上
前列左から 大槻 西本 柏 森信

「ふれあい雪谷」歴代編集委員の皆様

笹丸自治会：濱邊一雄・直井禮久男・小倉英靖・横田 順・
成澤千代子・荒井啓治・森信節子
雪谷石川台自治会：三浦悦次・澁谷武次・大槻 生
希望ヶ丘自治会：松川五十五・米川 實・木原 恵・近野益美・木村憲一
南雪谷自治会：松本克二郎・渋谷十四子・飯田七造・太田眞弘・
立麻裕稔
東雪谷東中自治会：直井稔枝・南健治郎・秋山一雄
東雪自治会：直井和子・松尾勝子・西本頼雄
池の台自治会：野邊晴子・國府方進・大恵芳子・岡野喜代子・
柏三八子
小池自治会：樽村昌安・山下雅己・原 龍興
上池上自治会：海老澤幸子・田中紀子・田上潤一

「ふれあい雪谷」創刊号から100号までを出張所でご覧いただけるようにしております。ぜひお越しください。

ふれあい雪谷（創刊・平成2年（1990年）12月20日）年4回発行
（1月・新年号／4月・さくら号／7月・あさがお号／10月・もみじ号／の1日発行）
〔発行日〕平成27年（2015年）もみじ号 10月1日（通巻・第100号）発行
〔発行〕地域力推進雪谷地区委員会〔編集〕「ふれあい雪谷」編集委員会
〔連絡先〕雪谷特別出張所
〒145-0065 大田区東雪谷3-6-2 電話 3729-5117 FAX 3729-1826

http://www.city.ota.tokyo.jp/chofu/ts_yukigaya/index.html



おすすめスポット

A 洗足流れ

洗足池を始点として上池台と東雪谷の境を流れ、仲池上で呑川に注ぐ全長約1.5キロの流れです。周囲は閑静な住宅街で水路には遊歩道が整備され、スポーツジムの所からは桜が植樹されており、春になると見事に咲き誇っています。

荏原病院裏門の先からは細い流れとなりコイなどの魚や水生植物が生息し、カルガモ、カワセミなども姿を見せます。また、一部の区間には近所の方がホタルの飼育のためカワニナなどを入れ大切に育てています。数年前からは初夏になるとホタルが飛ぶのが見られます。

B 昂(すばる)児童公園

丘の上の小さな公園は、春先、白色の花々を基調に薄紫の花々を配した、天空のスバル星のような美しさを輝かせます。そして初夏にかけ橙色の絨毯を敷きつめた様なタピアンほか数多くの花々が可憐に咲きほこります。秋にはキンモクセイ、冬には紅梅白梅の香りが漂います。

C 希望ヶ丘自治会館

昭和の初め頃に建ち、格天井に風格のある床の間を備え、歴史を積み重ねた会館です。一見、平屋建てですが、秘密の2階部屋があります。最近ではドラマのロケで「交番」等に利用されることもたびたびです。古さと不思議さが同居する希望ヶ丘自治会館です。

D ギャラリー古今

「ギャラリー古今(ここん)」は洗足池医院のエントランスにあり、現代美術や、古美術の企画展を不定期に開催しています。1階エントランスに展示してある作品は、病院が開いている時間はいつでも見ることが出来ます。

10月16日～11月8日の間、六田智弘さんの写真展「壁」を1階から3階(茶室)で開催します。

E 水神公園洗い場

この場所は、昔は「水神の森」と呼ばれ、湧水の豊富なところでした。洗い場は湧水を利用して野菜や農具を洗うなど、時代と共に様々な用途に使われてきました。

洗い場の面影を残すため、平成26年公園整備に合わせて復元したものです。水神様は現在雪ヶ谷八幡神社へ移されています。

F もみじが丘

雪谷の町を歩いていると、家々の庭の緑が目に入ります。緑に囲まれた町並みは、人を癒すとともに、生活環境を良くしてくれます。南雪谷の町の真ん中に「もみじが丘(南雪谷四丁目3番～10番)」といて、狭い道路の両側に紅葉が植えられ、秋には綺麗に紅葉します。大田区では、緑を増やす運動を行い家々の木や草花を増やし、四季を通して花で一杯になることを進めています。



しばざくらきんたろう
児童公園(キリの大木)



「ふれあい雪谷」100号を祝って
編集委員が贈るスポット第1弾です。
お散歩ガイドとしてお役立てください。
皆さまからのおすすめスポット也大歓迎です!!



G 小池公園

約70年の歴史があった小池釣堀が、小池公園として生まれ変わり6年が経過しました。釣堀としての営業中は釣り人のみの憩いの場所でしたが、公園になってからは、早朝は湖畔をランニングする人、愛犬家の散歩、その後は近所の保育園児の元気な声が聞こえます。春先には、カルガモの親子連れ・浅瀬の水面が黒くなるオタマジャクシ・桜の木の下では、親子連れがランチを楽しみ、藤の季節には棚の下でベンチで憩うなど、四季を通じ楽しめる公園になりました。

H 田代ステンドグラススタジオ



小池公園近く閑静な住宅街の一面の、おしゃれな建物です。英国での生活がきっかけ、日本の風土にマッチしたデザインをと、作家歴36年の田代一郎さんの独学の世界。自然の花、植物、風景などをモチーフに制作しています。常時100点程の作品を

季節ごとに入れ替え展示しています。スタジオは、午前10時から午後6時30分まで(定休日/月・火)。皆さまお出掛けください。

I 花坂坂

坂下の東雪谷五丁目12番と13番の間から五丁目7番の池雪小学校のプール脇までを上げる坂道が花坂坂です。坂名はかつて日蓮聖人が身延山から洗足池を通り、池上へ向う途中、この付近に野花在美しく咲き乱れ、思わず手折ったので、以来「花抜き」(花の木ともいう)の地名で呼ばれるようになったという伝説に由来します。また、勝海舟もこの坂を通ったと言われています。

J 清流の復活—呑川—



中原街道の石川町二丁目付近を流れる「呑川」に架かる橋(石川橋)の所に「清流の復活」という碑があります。戦後都市化の進展と共に水質の悪化や水量の減少などが見られましたが、平成7年3月から東京都による清流の復活事業が行われたということです。尚、現地には復活事業の詳しい立て看板と、大田区文化財「石橋供養塔」という碑が立っています。

K ねがた桜みち

子安八幡神社下、大森十中裏、第二児童公園前を通って、第二京浜国道にぶつかる道に、45本ほどの桜並木が続いています。この道を「ねがた桜みち」と呼びます。3年前に命名されると共に、「ねがた桜みちの会」も結成され、桜まつりなど各種イベントを実施しています。



L 雪谷のダイヤモンド富士

東調布公園前の信号の道をまっすぐ進んでぶつかる丘陵地は「ネンド山」と呼ばれていました。その急斜面の階段を上った辺り(東雪谷五丁目21番付近)が、冬至前後、富士山の頂に夕日が沈む様が見られる雪谷の絶景スポットです。

凡 例

自治会館

主な施設

学校

主な公園

その他の公園

桜

もみじ

神社

寺

湧水

雪谷地区の坂道

1 洗足坂(せんぞくざか)

2 宮前坂(みやまえざか)

3 雪見坂(ゆきみざか)

4 権現坂(ごんげんざか)

5 花坂坂(はなぬきざか)

6 庄屋坂(しょうやざか)

7 貝塚坂(かいづかざか)

8 稲荷坂(いなりざか)

9 大久保坂(おおくぼざか)

10 鶴の巣坂(こうのすざか)

11 蟬坂(せみざか)

12 猿坂(さるざか)

13 相生坂(あいおいざか)

14 八幡坂(はちまんざか)

15 六郎坂(ろくろうざか)

16 大尽坂(だいじんざか)